

## 第222回 原医研セミナーのご案内

下記のとおりセミナーを開催致します。多数ご参集下さい。

### 記

日時：平成31年 3月14日（木）午後4時30分～  
場所：原医研研究棟3階セミナー室  
演題：ショウジョウバエを用いた疾患研究の現状と展望  
講師：広島大学大学院理学研究科

教授 千原 崇裕 先生

ヒトとショウジョウバエの間では多くの遺伝子が進化的に保存されており、ショウジョウバエを用いた疾患研究に注目が集まっている。ショウジョウバエでは様々な分子遺伝学的手法が開発されており、個体内単一細胞レベルの解像度で遺伝子機能解析が可能である。更に近年、ゲノム編集技術やシングルセルオミクス解析を組み合わせることで、その解析技術の精度は格段に上昇している。

私はショウジョウバエ嗅覚系神経回路と神経筋接合部シナプスをモデル系として、神経発生・回路形成、個体行動・老化に関する分子遺伝学的研究を行ってきた。その過程でショウジョウバエを用いた遺伝学的解析がヒト疾患変異の性状理解に有用であることを示している (*Nat Neurosci.* 10: 828-837, 2007; *Hum. Mol. Genet.* 22:4474-84, 2013; *J Biol Chem* 291: 23464-23476, 2016; *Am J Hum Genet* 99: 950-961, 2016; *Cell Rep* 16: 2289-97, 2016)。本セミナーでは、ショウジョウバエの遺伝学的解析法の基礎から最新技術までを概説し、我々の研究例を用いながらショウジョウバエが如何にヒト疾患研究に貢献できるか、その可能性と限界について議論したい。

連絡先：広島大学原爆放射線医科学研究所  
分子疫学研究分野（内線 5846）

広島大学霞地区運営支援部総務グループ  
082-257-1611（内線 6532）